



東北地区国立大学法人等

オープンセミナー

山形大学 総務部 企画IR課 企画IR担当

現在に至るまで

出身は、山形県山形市。

大学生活のみ、お隣の仙台市で過ごす。

● 平成31年4月 国立大学法人山形大学に採用。
飯田キャンパス事務部総務課人事担当に着任。
→主に医療職員の任免・給与に関する業務を担当。

● 令和 3年7月 総務部企画IR課企画IR担当に異動。
→主に評価・IRに関する業務を担当。

Q:なぜ山形大学の事務職員に？

A:いくつか理由はあるが、一番は
「これからも大学に関わっていきたい」と思ったから。

個人的に大学生活は様々な経験があり、卒業で大学との関わりがなくなってしまうのは、とても惜しいと感じた。

他の理由として、どんな形であれ山形県に根ざした人生を送りたかったため。

(私の知人は、ほぼ地元に残らなかった...)

Q:今回ご参加いただいたみなさまは、
大学に対してどういった印象をお持ちだろうか？

平成31年4月 ~ 令和3年6月

飯田キャンパス事務部 総務課 人事担当

・私の職員人生における出発点

最初は先輩職員に頼りきり... 徐々に自分の力で仕事をこなせるようになり、成長を実感できた。

○主な業務は以下の3点

- ① 職員の募集案内の掲載、採用試験の実施
- ② 職員の採用・退職・育児休業等の事務手続
- ③ 職員の各種手当に関する事務手続

→やはり「人事担当」なので、職員と関わる業務がほとんど

平成31年4月 ~ 令和3年6月

飯田キャンパス事務部 総務課 人事担当

- 大学内でも特殊な環境だったため、少し戸惑いが...
当時の私の業務は、附属病院に関する業務だったため、今までの職員イメージとは違っており、最初は戸惑いがあった。
だが、環境に慣れてくると、自分の視野の広がりを実感でき、とても楽しかった。
- 責任を持って行動する、という基礎を学んだ
正直、ここまで生きてきてようやく、人生の基礎とも言えるべきことを学んだ気さえする。
相手が同じ職員だからこそ、無責任な行動の結果が明らかになってしまう。

令和3年7月 ～ 現在まで
総務部 企画IR課 企画IR担当

・初の異動を体験して...

前部署での業務に慣れてきたと感じた矢先の異動だったため、少し喪失感があった。

新たな部署になって、また1年目のレベルに戻らぬよう、なんとか業務の共通点を見出して、自分の能力を活かすための努力をしている。

○主な業務は以下の2点

① 大学の評価に関する業務

② 大学のIRに関する業務

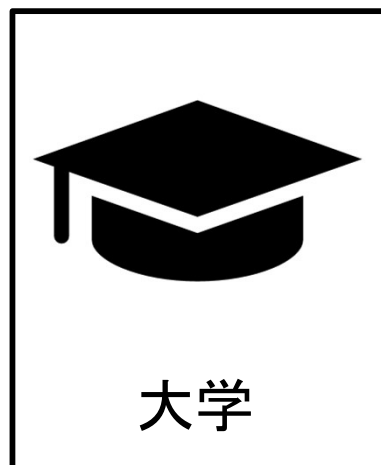
→着任当初はあまりピンとこなかった...

令和3年7月 ~ 現在まで
総務部 企画IR課 企画IR担当

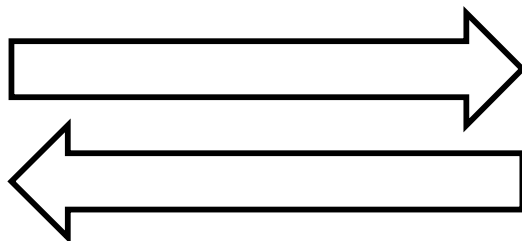
・大学の「評価」とは？

例えると、私達が小・中学生だった頃の成績簿をもらう感覚に近い。

先生(外部機関)から自分の学習成果(大学の取組)を評価してもらうイメージ。



①大学の取組をまとめ、報告する



②報告を元に評価し、通知する



令和3年7月 ～ 現在まで
総務部 企画IR課 企画IR担当

・大学の「IR」とは？

IR = Institutional Research と呼ばれるものであり、

客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の
効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又
は業務の継続的改善を支援する機能のこと。

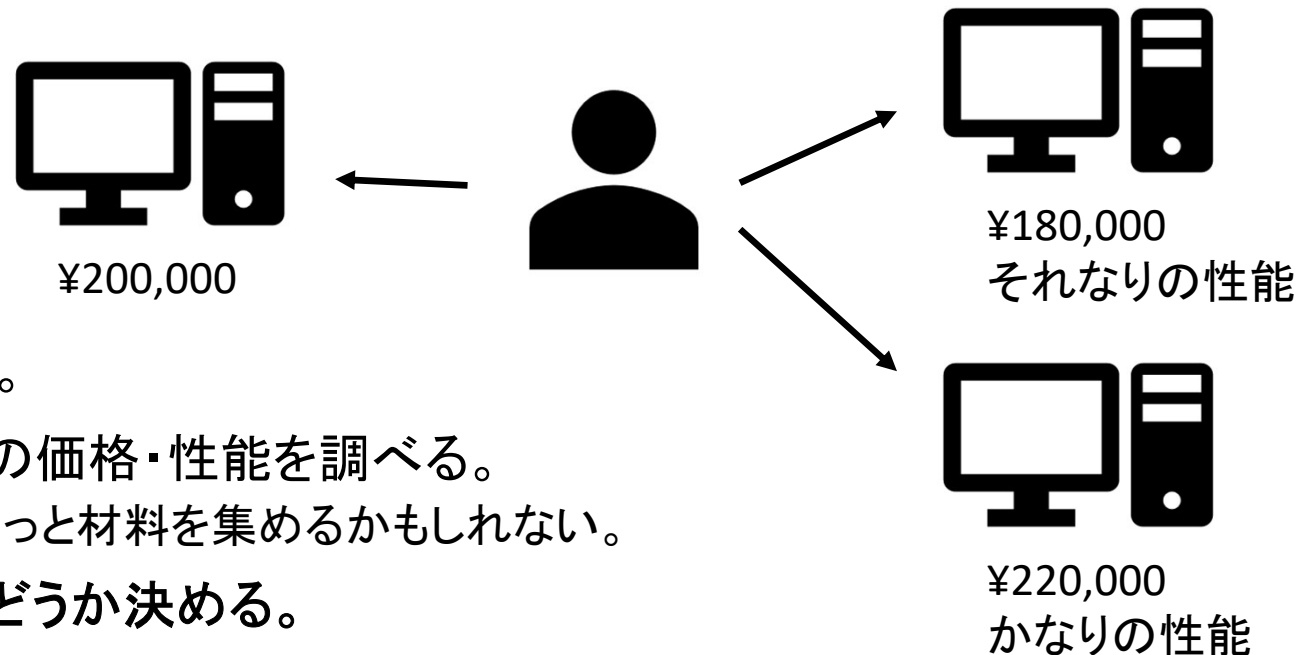


この説明で具体的にイメージできる人は少数だと思います...

令和3年7月 ~ 現在まで
総務部 企画IR課 企画IR担当

・「IR」の話の続き

新しい家電製品を買うことを想像してみる。



・価格をみる。

②他の製品の価格・性能を調べる。

ほかにももっと材料を集めるかもしれない。

→買うかどうか決める。

「IR」とは②のように、意思決定のための材料提供。

(ほぼ)3年間の職員人生を通して・・・

・1年目

大学職員としていち早く貢献できるよう、基礎能力を身につける。

・2年目

1年の経験を元に、役割をこなすだけでなく、「改善」も意識して業務にあたる。また、そのための能力向上。

・3年目 ～

ゼロからなにかを作り出す能力。その提言ができる能力。
つまりは「企画力」を身につけるため、日々試行錯誤を行っている。

→大学職員は、常に学び続ける姿勢が必要だと痛感する。
それ故に成長も実感できる。

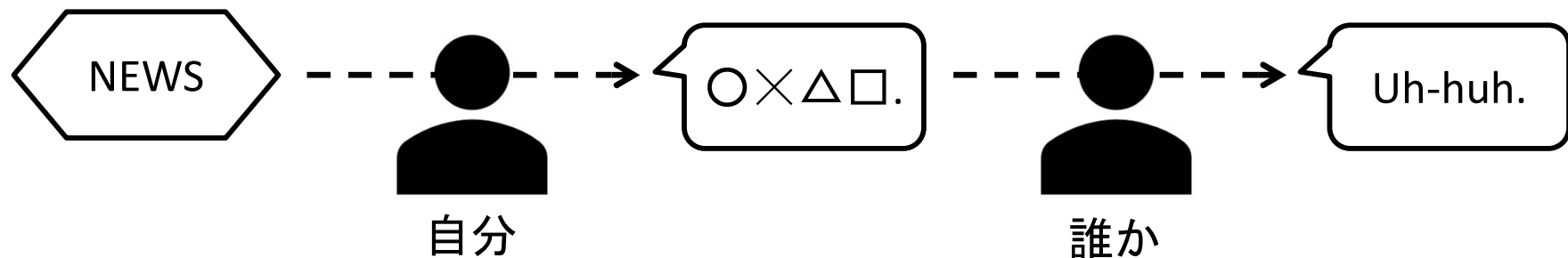
(個人的に考える)二次試験対策

○二次試験全体的に

二次試験に関しては、事前準備のやりすぎは裏目にでることもある。
知識量も当然大切だが、想像力・表現力も重視しよう！

日頃からの訓練として、
些細な情報でも、自分なりの考えを「誰かに伝えられるような」形で
まとめる訓練をしておくといいかもしれない。

(ありきたりですが...)



(個人的に考える)二次試験対策

○個人面接

先程と同じことだが、練習しすぎないように...(回答の用意はほどほどに)あまり試験だと意識せずに、自分の考えを伝えよう。

○グループワーク(集団討論)

「自分の意見」「他の人の意見」を元に、更に発展した意見を作り出そう！複数人で1つのテーマを討論する意義を考え、一人ではたどり着けない成果を目指して、意見交換をしましょう。

(私が思う)ともに働きたい職員像とは？

○無力感に押しつぶされない

職員になりたての頃は、わからないことがとても多く、人によっては無力感に押しつぶされそうになってしまう。

だが、先輩職員は知識不足についてむやみに責めたりしないので、常に前向きで行きましょう！

○試行錯誤ができる

どんな業務であれ、常に最適化してこそ、「人」が業務にあたるメリット。
(単なる機械・システム任せではできないこと。)

些細なことでも、改善につなげるよう考える力を培っておくと、様々な場面で役に立つと思います！

採用された時点の能力より、その伸びしろに期待したい！！！！

ご清聴、ありがとうございました。
みなさまと共に職務にあたる日がとても楽しみです！